



水痘ワクチンと成人用肺炎球菌ワクチンが法定接種化

9月2日に開会した定例市議会は、14億円の補正予算案が提案されています。おもな事業は、保育園7園の新設・増設に約6億5000万円、水痘ワクチン及び成人用肺炎球菌ワクチン定期接種に約5億7500万円です。

10月1日より水痘（水ぼうそう）予防接種が法定接種化されます。1歳～3歳未満で、過去に水痘にかかったことがなく、水痘予防接種を受けたことがない人は2回接種でき、1歳～3歳で、過去に水痘にかかったことがなく水痘予防接種（任意接種を含む）を1回接種済みの人は1回接種できます。平成26年度のみ経過措置として、3歳～5歳未満で、過去に水痘にかかったことがなく、水痘予防接種（任意接種）を受けたことがない人は1回接種できます。自己負担はありません。実施場所は市内委託医療機関です。

成人用（高齢者向け）肺炎球菌ワクチンも法定接種化されます。対象者は、接種当日に満60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓又は呼吸器の機能にまたは、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能障がいそれぞれ単独で障害者手帳1級程度の市民、平成26年度から30年度までの経過措置として、当該年度内に満65、70、75、80、85、90、95、100歳（平成26年度に限り101歳以上も対象となる）の市民が対象です。自己負担は3610円です。

前号に引き続き

資源化物のステーション回収増について

岡山市は、ゴミ減量目標として、市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度実績837gに比べて平成37年117g（約14%）を削減し、資源化率を平成22年度実績16.1%に比べて平成37年度約33%に向上する目標を掲げています。今回、回収を2回に増やすことで、排出機会を増やし、資源化率を上げていこうとするものです。

周知不足

資源化物2回収により、旭川西から笹ヶ瀬川東のエリアで可燃、不燃、資源化物それぞれの収集曜

日が変わるステーションがあります。その地域の人に尋ねてみると、変更を知らないという人もいます。該当地域も含め、全市民に周知を急ぐべきです。

実は市内全域が2回ではない

御津や瀬戸は現行どおりです。御津は町内会の意向で、月に1回のままとなったそうです。他では、当面1回という町内があります。当番の負担が増えるなどの理由で、町内会の了解が得られていないなどの事情です。環境局長は、これからも2回収の理解を得る努力をすると答弁しています。

容器包装プラスチックを資源化物に

今回、古布等で品目が拡充されましたが、20政令市中、熊本市など15市では、容器包装プラスチックも資源化物として回収しています。岡山市でもぜひ取り組むべきです。

8月30日このみフォーラムを開催しました。

約60名の方に参加していただき、皆さんから貴重なご意見をいただきました。学力テスト結果など教育問題や、高齢者福祉のサービスを「市民のひろば」で紹介してほしいなど、早速に当局と話しているところです。私からは、岡山市の財政状況をお話しさせていただきました。物価の上昇、消費増税、社会保険料等の支出増に、給与や年金が追いついていません。くらしの将来不安を取り除く政治が必要です。これからも皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼9月30日(火) まちづくり～おしゃべりネット♪
10:00～12:00 下市このみ事務所
- ▼11月2日(日) 第31回ひまわりマーケット
10:00～ 高屋公園
- ▼11月23日(日) 勤労感謝の日
下市このみ後援会 第7回親睦旅行
行き先はただいま検討中です。決まり次第
ご案内します。希望の方は下市事務所まで

9月議会開会中 ～9月26日(金)まで

労働相談なんでもライン / TEL&FAX 086-270-5350 / 相談無料・秘密厳守